

第118期中間期

株主の皆様へ

平成23年4月1日から平成23年9月30日まで



トピー工業株式会社

<http://www.topy.co.jp>

証券コード 7231



株主の皆様には、日頃より格別のご高配を賜り
厚く御礼申しあげます。
ここに、第118期 第2四半期の営業の概況をご報告申しあげます。

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災により毀損したサプライチェーンの復旧が進み、鉱工業生産は緩やかに持ち直してまいりました。しかし、震災の影響による企業業績や個人消費の伸び悩みに加え、欧米の金融市場の動揺や歴史的な円高の継続、新興国の成長の鈍化等、景気は不透明な状況で推移いたしました。

このような状況下、当社グループは、拡大する海外市場への対応に取り組み、中国において建設機械用足回り部品である履帯の組立能力及び現地調達率の向上を図るための第二の生産拠点の設立やベトナムにおいて二輪車等に使用される工業用ファスナーの生産工場の建設を決定し、企業価値の一層の向上に努めてまいりました。販売につきましては、主要事業分野である自動車・産業機械部品事業において、建設機械用足回り部品が海外需要を中心として堅調に推移するとともに、期初においては顧客の生産調整の影響を受けた自動車用ホイールの需要につきましても回復の動きが見られました。

その結果、売上高1,136億9千2百万円(前年同期比6.5%増)、営業利益33億1千4百万円(前年同期比22.8%増)、経常利益28億4千5百万円(前年同期比40.2%増)、四半期純利益13億8千3百万円(前年同期比168.1%増)を計上することができました。

当連結会計期間の中間配当金につきましては、当社の利益配分に関する基本方針及び通期の業績予想を勘案いたしまして、1株につき2円とさせていただきます。年間配当金は、期末配当金とあわせ、1株につき5円を予定しております。

今後のわが国経済の見通しにつきましては、東日本大震災による落ち込みからの持ち直しが期待されるものの、欧米の金融市場の動揺や歴史的な円高の継続、新興国の成長の鈍化、タイで発生した大洪水の影響等の下振れ懸念により、予断を許さない状況が継続するものと思われれます。

このような経営環境下、当社グループは、海外市場への確実な事業展開と国内事業基盤の再構築を図り、企業価値の一層の向上に努めてまいります。今後も、コーポレートメッセージ「One-piece Cycle」が表す「素材から製品までの一貫生産」の優位性を発揮し、トピー工業グループの一貫利益の追求とさらなる躍進を図ってまいります。

株主の皆様におかれましては、今後とも一層のご支援とご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

平成23年12月

代表取締役社長

藤井 康雄

事業別セグメントの営業概況

鉄鋼事業

鉄鋼業界は、東日本大震災等の影響を受け、厳しい市場環境となりました。電炉業界においては、主力市場である土木・建築向け鋼材の需要が引き続き低迷する中、販売価格は下落いたしました。

このような状況下、当社グループにおきましては、自動車・産業機械部品事業に供給する建設機械用足回り部品・ホイール向け鋼材需要が引き続き堅調に推移するとともに、適正な販売価格の維持に努めてまいりました。その結果、売上高は342億6千4百万円（前年同期比3.8%増）、営業利益は17億4千8百万円（前年同期比4.3%減）となりました。

自動車・産業機械部品事業

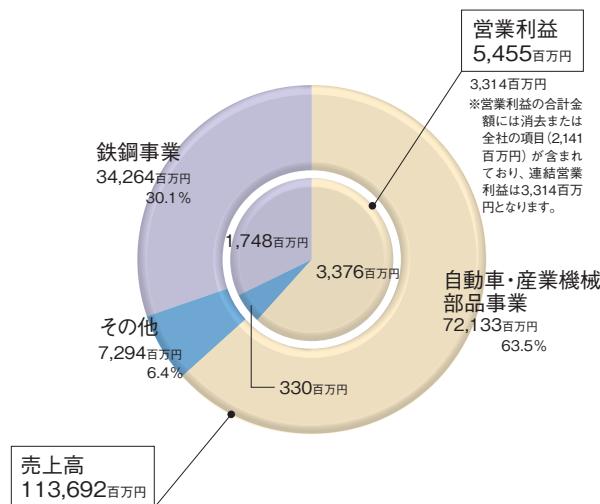
建設機械業界は、東日本大震災の影響を受けたものの、新興国でのインフラ整備や資源開発等の海外需要が引き続き好調に推移いたしました。一方、自動車業界は、第2四半期に入り、生産は持ち直してまいりましたが、東日本大震災によるサプライチェーン寸断の影響は大きく、生産台数は前年同期を下回りました。

このような状況下、当社グループにおきましては、鉱山向け超大型ホイール及び建設機械用足回り部品が引き続き好調に推移いたしました。また、自動車生産の持ち直しを受け、トラック用ホイールを中心に需要が回復してまいりました。その結果、売上高は721億3千3百万円（前年同期比8.3%増）、営業利益は33億7千6百万円（前年同期比11.8%増）を計上することができました。

その他

電力卸供給事業、屋内外サインシステム事業、化粧品等に使われる合成マイカの製造販売、LEDディスプレイ及びグロウラーロボットの製作販売、土木・建築事業、「トビレックプラザ」（東京都江東区南砂）等の不動産賃貸、スポーツクラブ「OSSO」の運営等を行っており、売上高は72億9千4百万円、営業利益は3億3千万円となりました。

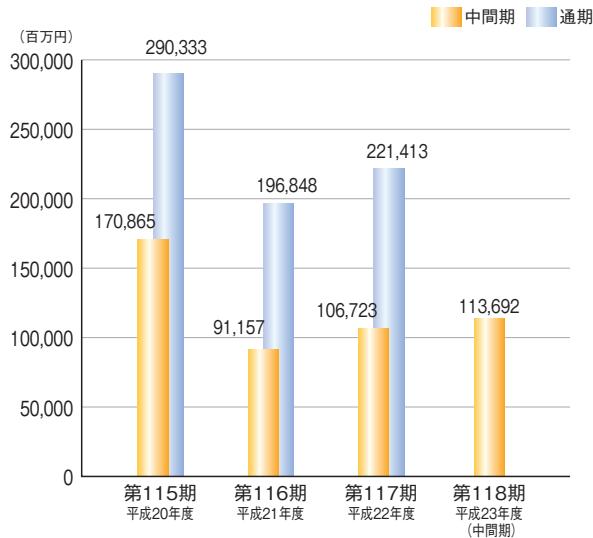
事業別セグメントの売上高・営業利益



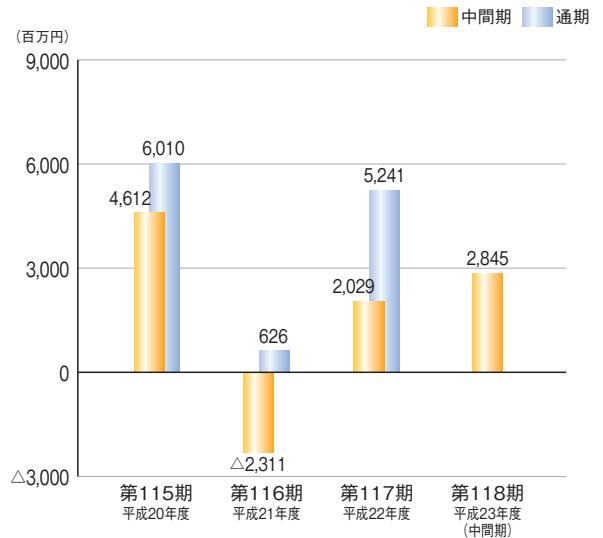
(注) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しています。

業績ハイライト

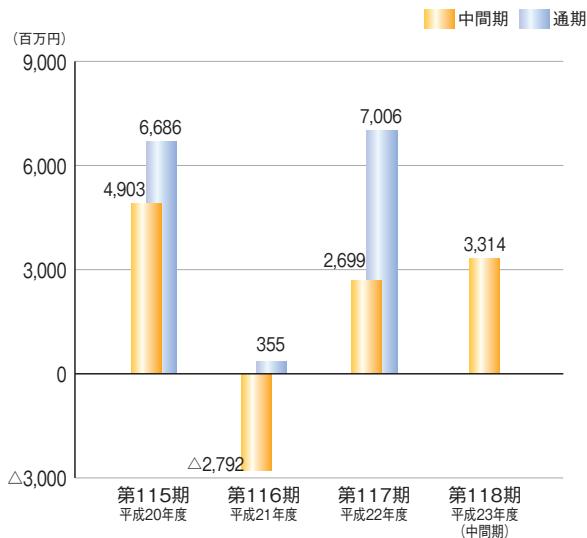
売上高



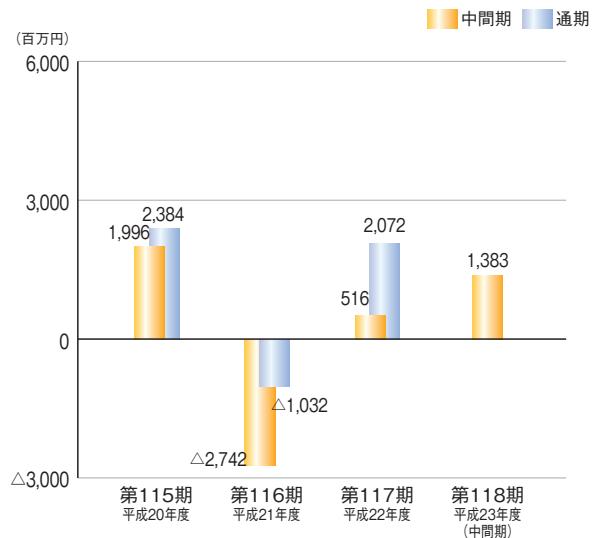
経常利益



営業利益



当期純利益



(注)記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しています。

中間連結貸借対照表

(平成23年9月30日現在)

(単位：百万円)

科 目	金 額	科 目	金 額
(資産の部)		(負債の部)	
流動資産	101,266	流動負債	75,608
現金及び預金	18,975	支払手形及び買掛金	38,056
受取手形及び売掛金	45,829	短期借入金	27,524
商品及び製品	14,937	1年内償還予定の社債	300
仕掛品	4,287	リース債務	79
原材料及び貯蔵品	9,228	未払法人税等	1,142
繰延税金資産	2,834	その他	8,505
その他	5,211	固定負債	44,562
貸倒引当金	△39	社債	13,600
固定資産	98,351	長期借入金	18,436
有形固定資産	72,208	リース債務	836
建物及び構築物	70,323	繰延税金負債	110
減価償却累計額	△46,650	退職給付引当金	6,209
建物及び構築物(純額)	23,672	役員退職慰労引当金	795
機械装置及び運搬具	152,296	定期修繕引当金	395
減価償却累計額	△125,055	資産除去債務	260
機械装置及び運搬具(純額)	27,241	その他	3,917
土地	18,256	負債合計	120,170
リース資産	1,053	(純資産の部)	
減価償却累計額	△132	株主資本	84,680
リース資産(純額)	920	資本金	20,983
建設仮勘定	475	資本剰余金	18,824
その他	28,374	利益剰余金	45,734
減価償却累計額	△26,731	自己株式	△861
その他(純額)	1,642	その他の包括利益累計額	△5,944
無形固定資産	625	その他有価証券評価差額金	△478
投資その他の資産	25,517	繰延ヘッジ損益	△11
投資有価証券	20,414	為替換算調整勘定	△5,454
繰延税金資産	2,463	少数株主持分	711
その他	2,712	純資産合計	79,447
貸倒引当金	△72	負債純資産合計	199,617
資産合計	199,617		

(注)記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しています。

中間連結損益計算書

(平成23年4月1日～平成23年9月30日)

(単位：百万円)

科 目	金 額
売上高	113,692
売上原価	97,467
売上総利益	16,224
販売費及び一般管理費	12,909
営業利益	3,314
営業外収益	636
受取利息	19
受取配当金	232
負ののれん償却額	114
その他	269
営業外費用	1,105
支払利息	493
持分法による投資損失	269
為替差損	118
その他	224
経常利益	2,845
特別利益	30
固定資産売却益	26
その他	4
特別損失	680
固定資産売却損	0
固定資産除却損	257
在外子会社清算に伴う為替換算調整勘定取崩額	354
その他	67
税金等調整前四半期純利益	2,195
法人税等	753
少数株主損益調整前四半期純利益	1,442
少数株主利益	58
四半期純利益	1,383

(注)記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しています。

■ベトナムに工業用ファスナーの生産子会社設立



当社グループは、工業用ファスナー製品及びプレス製品を、二輪車・四輪車・電機などの幅広い分野に供給しております。高品質な製品は市場から強い信頼を得ており、海外事業展開を進めるお客様のニーズに

応えるべく、現在では日本に加え、タイと米国に生産拠点を展開しております。

近年ASEAN諸国の経済成長は著しく、工業用ファスナーの需要も大きく拡大しています。特に、タイはアジアのデトロイトと呼ばれるまでに成長し、近国ベトナムは二輪車生産の大幅な増加が見込まれています。そこで、このたび工業用ファスナーの新たな製造・販売拠点をベトナムに設立することいたしました。それぞれの国の特性に合わせ、タイの生産拠点では四輪車用部品、ベトナムの新拠点では二輪車用部品を中心とした生産・販売体制を築き、グローバル市場における収益の最大化を図ってまいります。

■キャタピラー社様から品質認証システム・SQEP金賞を受賞

綾瀬製造所では、世界最大リム径である63インチまでの建設機械用ホイール(SGOR)を製造しています。SGORの高い品質が建設機械メーカーの評価を受け、旺盛な資源開発の拡大に伴った鉱山用超大型ダンプトラックの需要に合わせ生産量が増加しています。



顧客であるキャタピラー社様は、独自の品質認証システム(SQEP)を立ち上げ、サプライヤーとともに納入不具合ゼロを目指す取り組みを行っています。このたび、綾瀬製造所は、世界トップクラスの品質要求項目の満足と最高のサービスを評価され、SQEPの金賞を受賞しました。SQEP金賞受賞企業は、約1,500社あるサプライヤーの中でもこれまでもわずか30社程です。今後も顧客満足の維持向上に邁進し、建設機械用ホイールのトップサプライヤーとして世界の鉱山用超大型ダンプトラックの足回りを支えてまいります。

■クローラーロボット 危機管理産業展に出展

サイエンス事業部では、10月19日～21日に東京ビッグサイトで開催された「危機管理産業展2011」に出展いたしました。約63,000人の来場者の中、災害現場などで探査を行う「エクスクローラー」や、住宅の床下点検に適した「Anie」、小型ながらフリッパーアームを装着することで高い段差乗り越えを可能にした「S-92」の3機種を展示いたしました。S-92は、より詳細なデータを収集するために、放射線計測機の高さを可変する新機構を組み込みました。今後も、顧客の多様なニーズを捉え用途拡大と拡販に取り組んでまいります。



■トピー工業創立90周年 神奈川製造所・豊川製造所開所50周年

本年は、当社の前身である宮製鋼所が創業して90周年、東都造機 茅ヶ崎製作所(現:神奈川製造所)、車輪工業 豊川工場(現:豊川製造所)の開所から50周年になります。神奈川製造所は、東都造機 品川製作所の熱処理設備を移設し、同社の主力工場となりました。また、豊川製造所は、小型車輪工場とプレス工場が成長著しい自動車産業の需要拡大に対応するため建設されました。両製造所とも長い歴史の中で、数多くの生産能力の増強、合理化を行い、履帯の熱処理加工・組立、乗用車用スチールホイールのメイン生産拠点となっています。今後も、長い歴史の中で育んできた「鉄をつくり、鉄をこなす」をキーワードとした独創的な技術をさらに発展させ、世界トップレベルのシェアの維持向上と特色のある地位の確立に邁進してまいります。



東都造機 茅ヶ崎製作所



車輪工業 豊川工場

株式の状況

(平成23年9月30日現在)

発行可能株式総数 883,000,000株

発行済株式総数 240,775,103株

株主数 17,053名

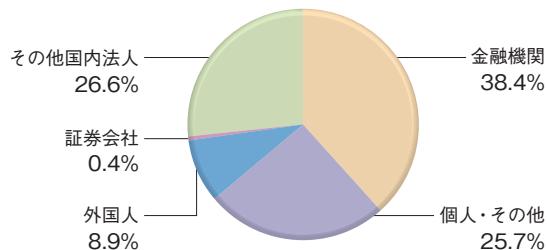
大株主一覧(上位10名)

株主名	株数(千株)	持株比率(%)
新日本製鐵株式会社	48,182	20.31
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	15,302	6.45
明治安田生命保険相互会社	9,751	4.11
株式会社みずほコーポレート銀行	7,878	3.32
トビーファンド	7,286	3.07
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	7,236	3.05
株式会社りそな銀行	5,909	2.49
株式会社損害保険ジャパン	5,746	2.42
トビー工業社員持株会	5,381	2.27
みずほ信託銀行株式会社	4,893	2.06

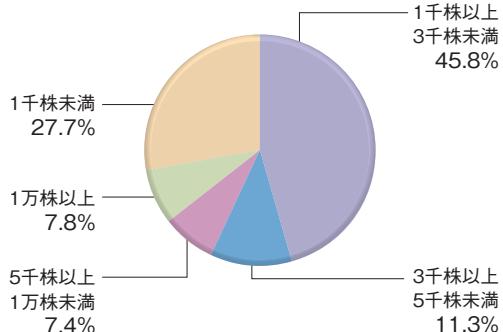
(注) 株数は千株未満を切り捨てて表示しています。
持株比率は、自己株式を控除して算出しています。
トビーファンドは当社取引先持株会の名称です。

株式分布状況

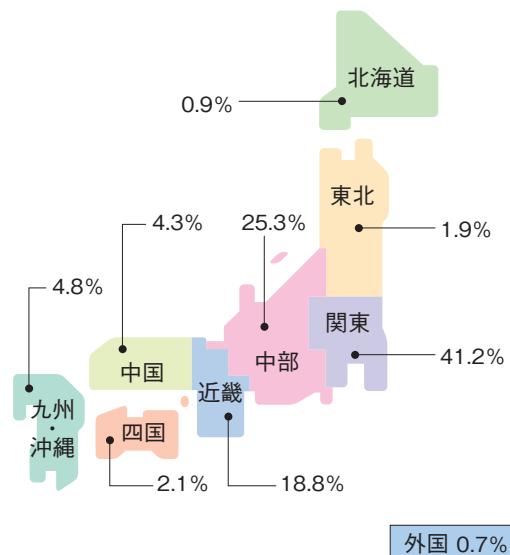
●所有者別分布 (株式数)



●所有株数別分布 (株主数)



●地域別分布 (株主数)



(平成23年9月30日現在)

商号 トピー工業株式会社
 創立 1921年(大正10年)10月
 資本金 20,983百万円
 社員数 1,953名

主要な事業所

- 本社 東京都品川区大崎1-2-2 ☎03-3493-0777(総務部直通)
- 支店 名古屋支店 名古屋市中区 大阪支店 大阪市中央区
- 生産拠点 豊橋製造所 愛知県豊橋市 豊川製造所 愛知県豊川市
 綾瀬製造所 神奈川県綾瀬市 神奈川製造所 神奈川県茅ヶ崎市
- 研究開発センター 愛知県豊橋市

連結子会社数 18社

役員

●取締役

取締役会長 清水良朗
 代表取締役社長 藤井康雄
 取締役副社長 東彰
 専務取締役 荒井隆司
 専務取締役 金森豊
 常務取締役 佐原崇彦
 取締役 望月淳夫
 取締役 金子正好
 取締役 谷俊之
 取締役 齋藤徳夫
 取締役 棚橋章

●監査役

常勤監査役 植野道雄
 常勤監査役 阿部一誠
 常勤監査役 瀧山崇
 常勤監査役 能野基道

●執行役員

小川雄三
 石井泰人
 秋山範雄
 熊澤智
 木嶋伸一
 竹内一郎
 木下浩幸
 小島正
 山本勝

基準日

毎年3.9月末日の株主名簿に記載された株主の皆様を対象に、そのご所有株式数に応じて、下記の優待を実施しています。

優待内容

1千株以上 3千株未満ご所有の株主様

●交通傷害保険の付保

- ・死亡・後遺障害保険
 保険金額:100万円(最高)
 補償内容:国内・国外を問わず、交通事故による死亡・後遺障害
 保険期間:3月末日の株主名簿記載の株主様 7月1日午前0時から翌年の1月1日午後4時まで
 9月末日の株主名簿記載の株主様 翌年の1月1日午前0時から7月1日午後4時まで
- ・入院特約
 保険金額:3千円/日(入院1日目から給付し、1,000日以内)

3千株以上 1万株未満ご所有の株主様

●交通傷害保険の付保

- ・死亡・後遺障害保険
 保険金額:100万円(最高)
 補償内容:国内・国外を問わず、交通事故による死亡・後遺障害
 保険期間:3月末日の株主名簿記載の株主様 7月1日午前0時から翌年の1月1日午後4時まで
 9月末日の株主名簿記載の株主様 翌年の1月1日午前0時から7月1日午後4時まで
- ・入院特約
 保険金額:3千円/日(入院1日目から給付し、1,000日以内)
- ・通院特約
 保険金額:1千円/日(90日以内)

1万株以上ご所有の株主様

●交通傷害保険の付保

- ・死亡・後遺障害保険
 保険金額:100万円(最高)
 補償内容:国内・国外を問わず、交通事故による死亡・後遺障害
 保険期間:3月末日の株主名簿記載の株主様 7月1日午前0時から翌年の1月1日午後4時まで
 9月末日の株主名簿記載の株主様 翌年の1月1日午前0時から7月1日午後4時まで
- ・入院特約
 保険金額:3千円/日(入院1日目から給付し、1,000日以内)
- ・通院特約
 保険金額:1千円/日(90日以内)

- フラワープレゼント または 社会福祉団体への寄付
 年2回(6月・12月)実施

その他

当保険は保険業法における傷害総合保険普通保険約款交通事故傷害危険のみ担保特約が適用されます。

なお、保険の内容についてのお問い合わせ、事故のときのご連絡は、下記事務局までお願いします。

トピー工業株主様自動付帯交通傷害保険サポート事務局
 株式会社トピーエージェンシー
 TEL.03-5436-0212 FAX.03-5436-0215



株主メモ

- 決 算 期 3月31日
- 定 時 株 主 総 会 6月
- 基 準 日 3月31日
その他必要があるときは、あらかじめ公告
いたします。
- 期末配当金受領者
確 定 日 3月31日
- 中間配当金受領者
確 定 日 9月30日(中間配当をする場合)
- 株 主 名 簿 管 理 人 東京都港区芝三丁目33番1号
(特別口座管理機関) 中央三井信託銀行株式会社
- 同 事 務 取 扱 所 〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号
中央三井信託銀行株式会社 証券代行部
0120-78-2031(フリーダイヤル)
- 公 告 方 法 電子公告(当社ホームページ掲載)
※やむを得ない事由により電子公告が出来ない
場合、東京都において発行する日本経済新聞に
掲載いたします。

- 住所変更、単元未満株式の買取・買増等のお申し出先について
株主様の口座のある証券会社にお申し出ください。
なお、証券会社に口座がないため特別口座が開設されました株主様は、特別口座の口座管理機関である中央三井信託銀行株式会社にお申し出ください。
- 未払配当金の支払について
株主名簿管理人である中央三井信託銀行株式会社にお申し出ください。

■表紙写真 中国第二の履帯組立工場建設を決定

当社グループは、油圧ショベル用履板や履帯において、世界レベルで圧倒的シェアを有しています。今後、世界の建設機械市場は中国などの新興国における建設投資などを背景に長期的に伸張すると見られます。当社グループでは、中国の急激な成長に対し、国内の製造拠点はもとより、2002年に設立した青島トピー機械有限公司においても能力の増強に取り組んでまいりました。現地調達率のさらなる向上と生産能力の増強を目的として、7月にトピー履帯(中国)有限公司を設立し、中国第二の履帯組立工場を建設することといたしました。

今回の新工場の建設により、中国における履帯事業の基盤を確固たるものいたします。また、グローバルでの「履帯10万台体制」を構築し、建設機械用足回り部品事業のさらなる成長を図ってまいります。

One-piece Cycle

流れるように美しい、技術と品質。